

# 自然生命科学研究支援センター 分析計測分野よりお知らせ

## 核磁気共鳴（NMR）装置 自己測定資格のご案内 (Varian社製 Mercury300, 400-MR, NMR System 600)

- ☆ NMR装置について共同利用（自己測定）が可能です。利用資格は各装置別に決まっていますのでご確認ください。
- ☆ 利用についてはライセンス取得が必要です。ライセンス取得には安全講習（春と秋のいずれか）を受講した後、検定を受ける必要があります。

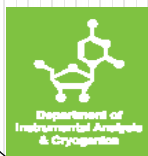
【装置概要】 有機合成、天然物抽出等で得られた溶液サンプルの分析測定にご利用頂けます。  
(測定可能核種： $^1\text{H}$ ,  $^{13}\text{C}$ ,  $^{19}\text{F}$ ,  $^{15}\text{N}$ ～ $^{31}\text{P}$ の周波数帯に有る核種)

【講習会実施時期】 4月下旬、9月中旬の年2回を計画していますが、期の半ばに着任された教員、研究者の方、ご都合の合わない学生の方も随時講習を致します。是非ご相談ください。

### 【自己測定資格について】

- 対象機種：300 MHz 研究室に配属された学部生以上
- 対象機種：400 MHz 大学院生以上（薬学部薬学科はB5以上）
- ・ 大学院生で300 MHzの利用資格をすでに有することを条件とし、400 MHzの利用を認める。ただしその学期に実施する講習会の受講しなければならない。
  - ・ 学部4年生のうち博士前期課程進学予定者で400MHzの利用を希望する場合、300 MHzの利用資格をすでに有することを条件とする、ただしその学期に実施する講習会を受講しなければならない。
- 対象機種：600 MHz 原則、D1以上
- ・ 300MHz、400MHzの利用資格を有することを基本とする。それ以外では、これまでにNMR測定の経験者であり、装置に習熟（Lock機構やShimの理解、他社のNMR装置での利用経験等）しており、差し支えなく操作ができることを条件とする。
  - ・ 修士（薬学部薬学科はB5以上）の場合、試験対象者は「博士後期課程進学予定者で指導教員の強い推薦が得られる者」、あるいは、「これまでの総測定時間数が100時間以上など、NMR測定に精通しており、指導教員の強い推薦が得られる者」に限る。

【問合せ先】 自然生命科学研究支援センター 分析計測分野  
理学部コラボレーション棟2階 204号室（職員室）  
本件担当：松本 恵  
keimatsumoto@okayama-u.ac.jp（内線 8747）



岡山大学自然生命科学研究支援センター分析計測分野ホームページにも、  
ご案内が載っておりますので、どうぞご覧下さい。  
URL: <http://kikibun1.kikibun.okayama-u.ac.jp/home.html>